

まさき議会だより

No.125

2025年5月1日発行

3月定例会



- P 2 一般会計当初予算約 **145億円** 始動
- P 9 一般質問 **5人が町政を質す**
- P14 盛況で終わった議会報告&意見交換会
- P17 (一社) 愛媛まさき町観光物産協会の方に
聞きました

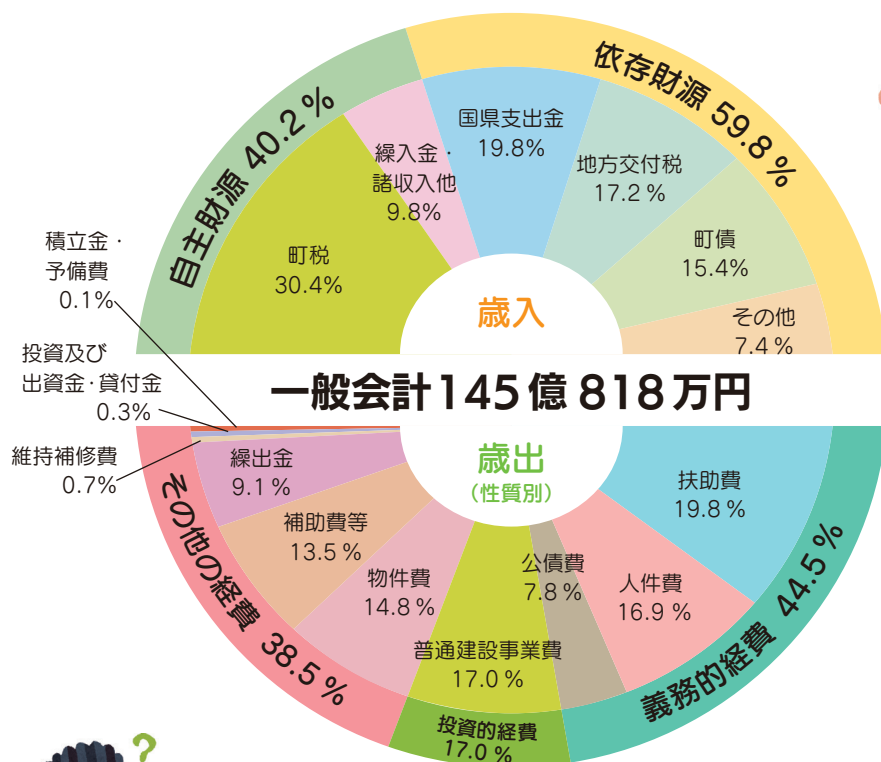


松前町
議会中継
[録画]



一般会計 145億 818万円 始動

(前年度比 13.3%増)



一般会計 145億 818万円

歳出の状況は？

主に、投資的経費、物件費や扶助費が増額になり、歳出全体で前年度より 16 億 9904 万円の増額になっているの。

え～、約 17 億円も増えたの！
歳入の状況は？

町税全体で 9781 万円増額やふるさと納税で 4600 万円増額だけど、可能な限り地方債や財政調整基金などを繰り入れて当初予算を編成したようだよ。

前年度の性質別歳出予算との違いは？

増減率が高いもので、主なものは、

○物件費は、47.6%増

・放課後児童クラブ運営の民間委託開始 1 億 2083 万円

・GIGA スクールタブレット一括更新、ネットワーク環境強化 1 億 9229 万円

○普通建設事業費は、36.6%増

筒井地区雨水対策（雨水貯留施設整備） 13 億 2300 万円

塩屋地区雨水対策（排水機場建設） 4 億 8000 万円

○扶助費は、19.0%増

自立支援給付 7 億 5483 万円

児童手当給付 6 億 5967 万円

逆に、投資及び出資金、貸付金は、93.1%減 になっているの。

扶助費って？

扶助費とは、生活に困っている人、子育てをしている世帯、高齢者や障がい者などの生活を社会全体で支えるためのお金のことだよ。義務的経費のひとつで、支出が義務付けられていて、削減が難しいんだ。

右表は扶助費の予算額なんだけど、年々増加していて、今後も増加することが予想されるよ。

令和 5 年度	23 億 3178 万円
令和 6 年度	24 億 1487 万円
令和 7 年度	28 億 7297 万円

そうなんだ。
ところで、今年度はどんな事業をするの？



第5次松前町総合計画に掲げられている5つの基本施策に着手に取り組み、「生きる喜び あふれる まち まさき」を目指しているの。令和7年度の主な事業は下のとおりよ。(◎は新規事業)

また、令和7年3月末日、現在の松前町として町制が施行されてから70周年の節目を迎えたため、町政施行70周年記念事業を実施するの。

① 安全・安心な生活環境づくり

- ◎指定福祉避難所の整備体制の強化
- ◎町花によるコミュニティ活性化
 - ・第2分団、第3分団、第5分団消防詰所の建設に向けた準備
 - ・消防士OBを防災防犯参与として再配置



② 笑顔で暮らせる健康づくり

- ◎高齢者補聴器補助
- ◎介護サービス提供体制の整備
- ◎拡大新生児スクリーニング検査費助成
 - ・マイナンバーカード関連事務の郵便局委託

③ 豊かな心を育む人づくり

- ◎学校給食費無償化
- ◎各地区公民館にWi-Fi設備やeスポーツ資機材などの整備
 - ・ホッケー公園クラブハウス新築工事
 - ・町誌刊行

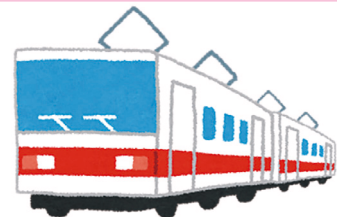


④ 活力あふれるにぎわいづくり

- ・農水産業の振興
- ・工場等設置奨励
- ・中小企業振興プロジェクト
- ・まさき町産業まつり（年5回開催）

⑤ 快適で暮らしやすい基盤づくり

- ◎北黒田海岸付近整備
- ◎都市計画マスタープラン変更
 - ・地域公共交通活性化
 - ・江川住宅外壁と屋根改修工事（5棟・6棟・給水塔）



その他の当初予算

国民健康保険特別会計	29億4531万円(前年度比2.6%減)
後期高齢者医療特別会計	5億9045万円(前年度比0.5%減)
介護保険特別会計 保険事業 介護サービス事業	30億6141万円(前年度比2.8%増) 1609万円(前年度比17.5%減)
水道事業会計 収益的支出 資本的支出	5億965万円 9億4407万円
下水道事業会計 収益的支出 資本的支出	4億3879万円 5億3947万円



他の
当初予算は？

右表の
とおりだよ。



予算決算

予算を
チェック①

子育て、学校教育の充実を

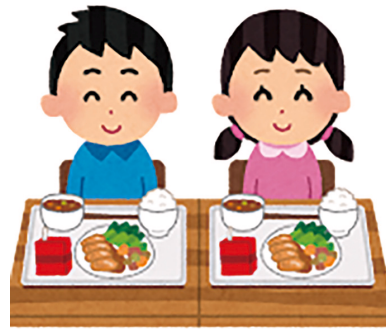
学校給食費無償化

1億5327万円

問 アレルギーのため給食でなく弁当持参の子ども、入院中の子どもや町立以外の学校に通う子どもなどへの対応は。

答 アレルギーによる欠食や不登校や病気、町立学校以外の学校に在籍しているなどの児童生徒についても検討した。
様々な課題があるため、令和7年度は学校給食センターから提供した給食に対する現物給付という考え方とした。

意見 今後も無償化の範囲について検討を。



学校生活支援員設置

5017万円

・勤務時間の拡大等により、支援員の確保と子どもの状況に応じた十分な支援

問 令和6年度は支援員一人当たり2.6人の児童の対応にあたっているが、同じクラスでの対応なのか。

答 22名が異なるクラス間での対応のため負担を懸念。
令和7年度は新たな配置予定の特別支援教育指導員が各学校（園）を巡回予定。

GIGAスクール

1億9315万円

・1人1台の端末更新

問 セキュリティ対策は。

答 情報リテラシー教育を実施。

中学校水泳授業を
民間委託

757万円

問 今後、中学校プールの使用は。

答 使用しない。

解体等について検討。

昨年のこども議会で提案 いよいよ実現に向けて始動

松前公園施設整備

1587万円



問 修繕工事は子ども議会での要望か。

答 松前公園に遊べない遊具があるとの意見から、すべての遊具が使えることを目標にしている。

子どもの居場所づくり・
多世代交流

227万円



問 利用者の負担はあるのか。

答 イベント委託料や通信運搬費、Wi-Fi 通信料は公民館で負担。

自立支援給付

7億5483万円

- ・ 居宅介護、生活介護、施設入所支援就労継続支援、共同生活援助など



問 就労や生業につながる支援は。

答 就労支援事業所の利用者が描いた絵などを役場庁舎に展示している。購入や貸出等を行い、就労につながる支援を継続していく。

高齢者補聴器補助

75万円

- ・ 在宅で生活する満65歳以上の補聴器購入費の2分の1を補助(上限2万5千円)



問 補助金額の設定根拠は。

答 実施している近隣市町を参考。

意見 申請状況を踏まえ、今後補助金額が妥当かという認識が必要。

予算決算

予算を
チェック②

健康で、明るく暮らせる町づくりは

ヤングケアラー支援体制強化

18万円

- ・ ヤングケアラーの把握調査

問 具体的な支援は行わないのか。

答 学校に協力を得て調査し必要に応じて慎重に対応したい。

意見 こども家庭センターへつなげるなど、早期に支援し重篤な状況にならないよう努力してほしい。

放課後児童健全育成

1億1614万円

- ・ 放課後児童クラブ運営業務を民間に委託

問 予算増は人件費とあるが、民間委託により人が増えるのか。

答 年々児童が増加。安全に預かるためには、支援員や補助員を適正に配置する必要があるため民間へ委託。

総合健診

4697万円



問 国費の具体的内訳は。

答 子宮頸がん検診に係るシステムの改修対応として国から3分の2と新たなステージに入った癌検診の総合支援事業として、国から2分の1。

全日本中学生女子ホッケー選手権大会を8月開催

250万円



問 負担金とは。

答 大会開催に向け設立された実行委員会に対して交付する。

ふるさと納税

・令和7年度 目標額 7000 万円

3530 万円



問 今後の目標と取組は。

答 毎年 1000 万円ずつ増やし、令和 10 年度には 1 億円を目指したい。
返礼品のブラッシュアップや新規返礼品の開拓に努める。

予算決算

予算を
チェック③

活気あふれる町づくりは

まさき町産業まつり

・年 1 回の大規模イベントから季節ごと
年 5 回開催（令和 7 年度は 4 回）



問 集客増は見込めるのか。

答 旬の農水産物を販売、季節に応じた
イベントを実施し松前の魅力を発信
していく。

まさき町夏祭り運営支援

800 万円



問 夏祭りの運営は。

答 実行委員会の負担軽減を図るため、
夏祭りは夜の部のみ主催。
はんざり競漕は夏祭りイベントから
切り離し、町主催で実施。

農地集積・集約化支援 231 万円

問 なかなか進まない原因は。

答 2 枚続きの農地でなければ事業に取り組みな
いため。

意見 畦畔除去後の高低差解消の費用補助も考え
てほしい。

松前町観光協会へ補助 1000 万円

・運営事業や観光パンフレットの増刷費

問 今後も補助を継続していくのか。

答 公共的な団体であるので当面の間継続。
会員収入が自主財源となるため、今後も会員
数を増やす努力が必要。

義農大賞廃止へ

問 コスト削減はどのくらいか。

答 過去 2 回の経費は約 2700 万円。
今後は町内のボランティア団体を義農祭で表
彰するなど、コストのかからない方法を検討。

町道維持管理

7275 万円

問 道路修繕には予算化が必要では。

答 簡易なものは職員が対応。
難しい場合は補正予算等を確保し工事を進
める。

防災対策

3667 万

問 防災行政無線が聞き取りにくいとの意見があるが。

答 業者とも現地調査を行い、対策をとる。



家具固定促進事業

150 万円

問 周知は。

答 回覧板で申請が増えたので、今後もあらゆる機会に家具転倒防止の大切さを周知。



予算決算

予算を
チェック④

防災力強化へ

防災防犯参与等設置

1246 万円

・危機管理専門職警察・自衛隊・消防のOB 各 1 名

問 前年度より 357 万円増は。

答 消防士 OB を再配置する報酬など。

指定福祉避難所の整備体制の強化

112 万円

問 配備品追加福祉避難所を 2 か所としているが、どのように選ぶのか。

答 町内の福祉避難所 11 か所すべてに照会をした結果、2 か所から要望があった。

補正予算
チェック

一般会計補正予算(8回目) 4 億 9612 万円増額

キッチンカー、トイレカー購入費補助

3000 万円

問 平時の取扱いや維持管理費は。

答 防災訓練等への参加による啓発活動に取り組み、地域防災の向上を目指す。維持管理費は購入事業者が負担。

問 キッチンカーとトイレカーの選択理由は。

答 キッチンカーは避難所での温かい食事、きざみ食、離乳食、アレルギー対応食の提供が可能。
トイレカーは各避難所に簡易トイレ等の備蓄では不十分であり、快適なトイレ環境のため必要。



その他の最終補正予算

一般会計補正の主なもの	
・(仮称)松前町浄水場整備への出資金	1 億 5830 万円
・保育給付	5500 万円
・粗大ごみ収集運搬処理委託料	1295 万円

国民健康保険特別会計	2286 万円
後期高齢者医療特別会計	△1116 万円
介護保険特別会計(保険事業)	1804 万円
水道事業会計	1 億 6000 万円

△減額

○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案

議案	議員名	重松	池内	池田	西村	渡部	曾我部	住田	田中	城村	影岡	稲田	村井	藤岡	加藤
令和 6 年度一般会計補正予算(8 回目)		○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○
令和 7 年度一般会計予算		○	○	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●

※議長は採決に加わらない。

専決処分の報告

- ・ 筒井地区雨水貯留施設整備工事変更
請負契約の締結 419 万円増額
- ・ 松前幼稚園 園舎増築及び改修
建築主体工事変更請負契約の締結
207 万円増額

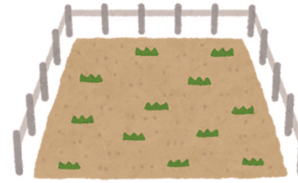
総合文化センターと松前公園 の運営に民間ノウハウを



問 使用料が上がり、利用者の負担増はないのか。

答 使用料は、条例で定めている金額を上限としている。また、使用料を見直す場合は、運営業者と協議の上、町長が認める金額とすることで、急に使用料が上がるということのないようにしたい。

開発行為の許可権限が町に移譲



問 事務量が多くなった場合、人員不足にならないか。

答 現在、都市計画係二人体制で業務を行っているが、業務も多いことから増員を要望している。

こども家庭センターの設置

問 児童虐待やヤングケアラーのケースもあると思うが、各所との連携は取れているか。

答 発生する事案ごとに情報共有を図り、各関係機関で漏れないよう連携をとる。細かな運営ルールについては、内規でしっかり定めていく予定である。

その他の議案

- 個人番号カードの利用に関する条例の廃止等
- 条例の一部改正

- ・監査委員条例

- ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例

- 町長等の給与に関する条例

- ・企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等

- ・保育所職員等の給料等に関する特別措置条例

- ・職員の特殊勤務手当に関する条例

- ・教育施設使用料条例

- ・学校給食センター設置条例

- ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等

- ・高齡者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例

- ・布設工事監督者及び水道技術管理者の資格に関する条例

- 特定の事務を取り扱う郵便局の指定

- ## ○土地改良事業の施行

- 第5次松前町総合計画基本計画の変更

- 郡中線土川踏切道改良工事基本協定の締結

議員提出議案

- 松前町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

賛否が分かれたものもありましたが、
全て慎重に審議し、いずれも可決しました。



一般質問



※すべての質問を掲載しているわけではありません。
詳しく知りたい方は、QRコードを読み取り、録画中継をご覧ください。

人口減少、特に女性の流出の対策は

若者にとって魅力のあるまちづくりを進める

問 人口減少、特に女性の流出に歯止めをかける年度施策を取り入れた第5次松前町総合計画は、女性が働きやすく活躍できる職場の創出、家庭や地域における意識改革が必要だ。

答 従来の子育て支援や教育の充実に加え、今後は女性の就業起業支援として町内企業と連携して、リモートワークの環境整備、デジタル技術を活用した新産業の誘致、農業のスマート化の促進など若者にとって魅力的な職場を増やす。

また、スポーツや未利用の地域資源の活用といった新たな視点を年度施策に取り入れ、町の総合計画を進めていく。



藤岡 緑
議員



老朽化した下水道管の点検、更新は

適宜検査を行い、適正な維持管理に努めている

問 埼玉県八潮市の下水道管老朽化による大規模な道路陥没事故を通して、本町の下水道管の点検、更新、道路の安全性は。

答 本町の下水道管は供用開始から約23年だが、各家庭などから排出された汚水を集めて処理場へ導く主要な幹線管渠の整備は、平成9年度から10年間かけて行っており今後も適正な維持管理に努めていく。



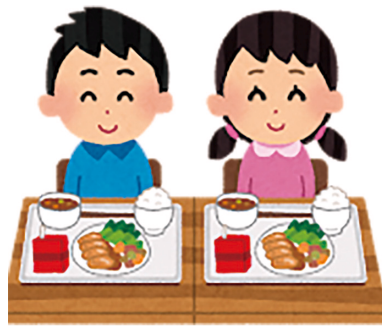
下水道事業経営安定化には、今後の使用料改定は避けられない課題か。

給食費の無償化でも
質や量の保証は

栄養価を確保した給食の
提供を維持していく

問 物価高騰が続く中での無償化で、質の低下やメニュー減少の心配はないか。

答 栄養教諭等が、国の定める基準に基づき、成長に必要な栄養価を確保したメニューを作成しているため、質や量が下がることはない。



池田 幸子
議員

オーガニック給食を
実現してみても

現時点では難しいが、
導入できないか模索していく

問 学校給食法で給食は教育の環境と位置付けられており、質とは、栄養価だけでなく、無農薬など安心安全で新鮮な食材であるか、地域の産業、文化、流通など豊かな学びと自然への敬意に繋がる食材であるか等も質といえる。オーガニック給食の実現可能性は。

答 現時点では有機農業の生産体制が十分に整っていないため、学校給食をオーガニック食材で賄うことは難しい。実現可能な方法を模索しながら、将来的な導入の可能性について検討を進め地域農業の振興や食育の推進にも貢献できる形を模索していく。

オーガニック給食を実現し、地域循環型の有機農業を活性化することで、教育・産業どちらにも利点が大きいと考える。ぜひ、オーガニック給食の実現を。

本町のDX事業の推進は

「フリーコード宣言シティー」
を契機に更に推進

問 DXへの取組を始めて3年が過ぎたが、進捗は。

答 令和4年度にDXを推進するための係を設置し、生産性向上のためにRPAを導入した。

また、電子申請システムの導入により、29の手続きで利用可能となっている。

そのほか、勤務管理システムの導入、ノーコードツールの更なる活用を推進し、住民サービスの向上、業務効率化を図っていききたい。



加藤 博徳
議員

今後の人口減少を見据え、DXの導入による業務の合理化を行い人員削減を。

問 DX推進による組織のスリム化で部長制度の廃止の改革は。

答 部長制度は町の組織運営において重要な役割を果たしており、安定的かつ効率的な運営を継続するために必要と考える。廃止の予定はない。

DX推進は、行政サービスの向上を目指すもので、組織のスリム化を目指すものではないと考えている。



空家対策の現状は

連携した団体とも協力し
本町に合った対策をする

問 本町では、2月6日に空家対策のため4団体と2つの連携協定を結んだとある。本町としては、まずどこに重きを置き、どのように活動していくのか。

答 今回の連携協定は、空家の管理不全防止に向けた普及啓発や除却、利活用を目的に締結した。空家を増加させないための取組としては、所有者・相続人に対し「空家にしない」「早期に活用する」との意識の醸成に取り組むとともに、空家問題の理解を深めるセミナーの開催などを考えている。



池内 邦仁
議員



高校生も空家問題啓発のため「グローバルな街づくり」講座を通じて様々な方々と協力して情報発信している。町としては、「松前町ゼロ予算事業」に本腰を入れてみては。

いずれにしても、今回7年ぶりとなる空家実態調査を実施し、連結協定を締結した団体とも協力しながら、本町のニーズに応じた空家対策に取り組む。適切な管理が行われていない空家が地域の生活環境に大きな影響を及ぼすことがないよう、空家等に関する対策を推進し、今後の活動の指針にしたいと考えている。



本町の農福連携の取組は

農福連携を進めるための協議
の場を設けたい

問 農福連携による就労の生きがいの場創出と労働力の確保は。

答 町内では、障がい者就労支援施設のうち、3事業所が農業経営者と農作業委託契約を結び、野菜の定植や収穫、選別作業などを行っている。

農福連携は、農業分野の喫緊の課題である労働力確保が期待される取組である。障がい者にとっても、農業を通じた働く場の確保などに加え、地域との交流の場となることが期待される。

今後、他自治体の先進事例を参考にしながら、本町に適した農福連携を進めていけるような



影岡 俊範
議員



体制づくりに向け、協議の場を設けたい。

農福連携とは？
・農福連携とは、障害者等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組です。
・農林水産省では、厚生労働省、法務省、文部科学省と連携して、「農業・農村における課題」、「福祉（障害者等）における課題」、双方の課題解決と利益（メリット）がある Win-Win の取組である農福連携を推進しています。

带状疱疹ワクチン費助成は

町単独の助成は、
今のところ考えてない

問 带状疱疹ワクチンが定期接種化されたが、本町独自の助成の考えは。

答 接種費用の助成については、県内市町で協議の結果、接種委託料からワクチン相当額を除いた金額とした。

町単独の助成は今のところ考えてないが、国や他市町の動向を注視していきたい。

予防医療の観点からも接種を勧奨し、本町独自の助成をしてほしい。

研 修 報 告

議会運営の改善及び議会活性化の取組

議会運営委員会

●研修内容

- ① 予算審査と決算審査前に議員間討議を行い、質問内容や論点を議論し、理事者との活発な質疑に繋げる。
- ② 常任委員会において事業の進捗を確認し、決算審査や予算審査に反映する。
- ③ 常任委員会を毎月開催し、タイムリーに審査や課題解決に向けた議論を行う。



- ④ 定例会終了後、議会運営委員会を開催し、定例会の反省会を行う。反省会では、常任委員会の質疑内容や一般質問の内容などを議論する。反省会で出た問題点や課題を明確化し、改善することで議会機能強化に繋げる。
- ⑤ 市民団体等と各常任委員会が課題やテーマを決めて課題懇談会を随時実施し、意見交換を行う。
- ⑥ 年間40自治会を回り議会報告会を実施し、意見交換を行う。



文教厚生常任委員会

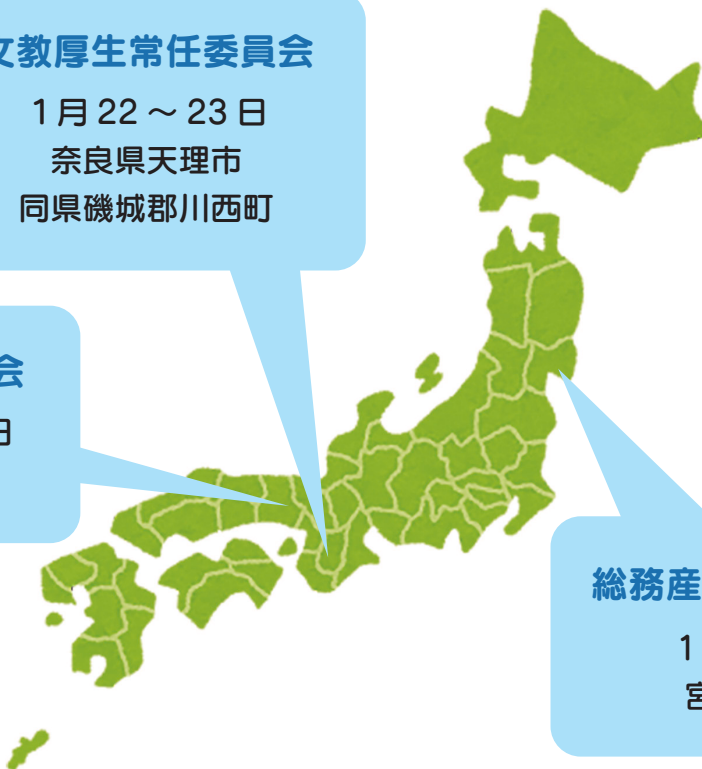
1月22～23日
奈良県天理市
同県磯城郡川西町

議会運営委員会

1月16～17日
兵庫県西脇市

総務産業建設常任委員会

1月27～28日
宮城県多賀城市



DX を活用した防災・備蓄管理の先進事例に学ぶ

総務産業建設常任委員会

●研修内容

防災DXプラットフォーム

「Boonai」について

①備蓄品管理の課題

○以前は管理をエクセルで行っており、データの加工に時間がかかっていた。

○搬入・棚卸に多くの人手を必要とし、運搬時のケガのリスクも伴っていた。

②「Boonai」導入後

○備蓄品管理は平時・災害時を問わず、システ



ムで一元管理できるようになった。

○協定企業先等への支援物資要請についても、システムから依頼が可能になり非常に便利になった。

「Boonai」は、現在、32都府県でアカウントが発行されている。

本町にとっても防災力の強化が求められる中、震災の教訓を行動に移した先進事例であることを心に留め、今後の参考にしたい。



チームの対応で「こどもまんなか」社会の実現を

文教厚生常任委員会

●研修内容

①こども家庭センターの設置について（川西町）

○機能設置とした。

○新たに取り組む自治体へのアドバイスとしては、統括支援員、母子健康機能担当、児童福祉機能担当が情報共有・連携をしっかりと取り、地域を含めたチームで迅速に対応することの重要性を強調されていた。



②教育現場の負担軽減について（大理事）

○学校関係の相談をしてもらう保護者専用窓口「ほっとステーション」を設立。

○学校の先生が精神的なストレスで休職、退職に追い込まれないよう、各事業を専門家も含めたチームで分析し、親子、先生の不安を取り除き、「こどもまんなか」の社会を目指している。

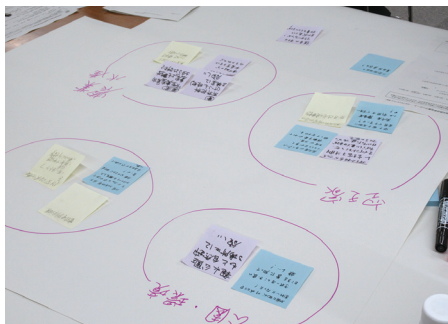


議会報告会

今年は総務産業建設（午前）、文教厚生（午後）のテーマで分かれて開催



意見交換会



【総務産業建設】

- ・空家をなんとかしてほしい
- ・町の街灯がなく暗い
- ・河川や空家のゴミ、雑草をなんとかしてほしい
- ・防災が不十分
- ・きれいな河川を身近で親しみやすくしてほしい
- ・公園のありかた（環境を守る / 整備）を検討してほしい

【文教厚生】

- ・子どもの居場所づくりやボール遊びができる場所の設置など子ども真ん中支援を
- ・不登校対策を学校内外、行政でしてほしい
- ・保育所の枠を広げてほしい
- ・歩いて通える病院が少ない
- ・プールや体育館の高齢者優遇をしてほしい
- ・コミュニティバスなど高齢者の支援も充実してほしい
- ・障がい者の支援の充実と窓口対応の向上を
- ・障がい者の避難計画・防災対策をきちんと進めてほしい
- ・保険料が高すぎる
- ・校区を選択できるようにしてほしい



などなど、他にもたくさんのご意見、ご要望が出され、活発な意見交換会となりました。



盛況で終わった議会報告 & 意見交換会

2月16日に議会報告 & 意見交換会を行いました。約40名の町民の皆さんにご参加いただき、活発な意見交換会となりました。

《アンケート集計結果》

◎開催日時は参加しやすかったですか？



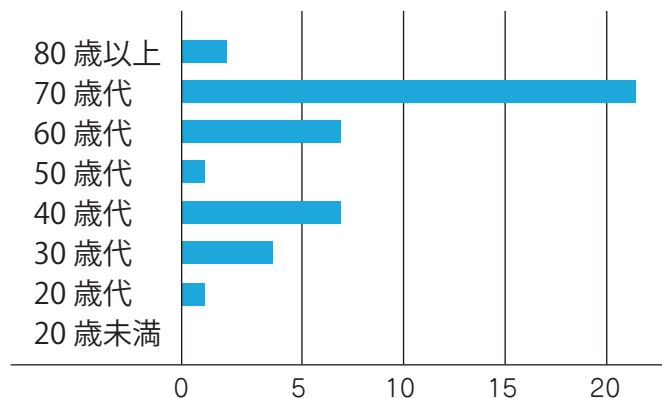
議会報告について

時間… ちょうどよい／ 32 人
長い／ 7 人、短い／ 4 人
内容… わかりやすかった／ 16 人
わかりにくかった／ 5 人
どちらともいえない／ 22 人

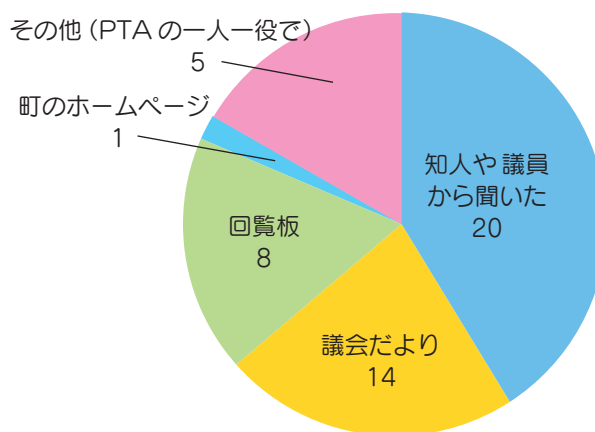
意見交換会について

時間… ちょうどよい／ 31 人
長い／ 2 人、短い／ 10 人
内容… よかった／ 41 人
よくなかった／ 0 人
どちらともいえない／ 2 人
テーマ設定… あったほうがよい／ 32 人
必要ない／ 11 人

◎参加年齢（計 43 人）



◎何で開催を知りましたか？



意見・感想 要望など

- 希望していることが言えてよかった。初参加だったが、参加できてよかった。次回も楽しみ。
- テーマ別でグループに分かれていたので話しやすく、分かりやすかった。
- 共感できることも多く、とてもためになる話合いだった。
- このような機会をつくっていただいたことはとてもありがたい。
- 若い方の考えや多様な意見を聞くことができ、有意義な時間だった。とても勉強になった。
- 開催したことは大いに評価したい。今後も開催を望む。
- 教育と子育て支援、福祉・医療は重なる部分が多く、組分けが難しい。
- たくさんの意見が出て時間が足りない。年 1 回ではなく、複数回、開催してはどうか。
- 子育て世代が参加しやすいように託児スペース（ファミサポと連携）を設けてはどうか。
- 託児の有無、駐車場の誘導など、事前にアナウンスがあるとよい。
- 議員と直接話ができてよい機会となった。
- 議員が親身になって説明してくれたので、親近感を感じた。
- よりよい松前町になってほしい。本当の教育の町に。
- 今回出た意見が、今後、どのような形で議員が声に出してくれるのかしっかりと見守りたい。
- 各議員の一般質問の回数や内容、委員会での活動を年単位で集計し一覧表にして公表してほしい。

これらの集計結果は今後の議会報告＆意見交換会に活かしていきます。
また、いただいた貴重なご意見やご要望は町政に届け、
経過は議会だよりにてご報告いたします。

第1回臨時会

2月10日に開催された第1回臨時会では、2件の議案が提出されました

専決処分の承認

一般会計補正(6回目)

1億 3501 万円増額

○物価高騰の影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯）へ給付金を支給。支給を受ける世帯の中で、18歳以下の子どもがいる世帯に加算。
・1世帯当たり3万円、子ども加算2万円/人



いずれも承認・可決しました。

一般会計補正(7回目)

補正額 1億 542 万円増額

主な事業

- ・町制施行 70 周年記念生活応援商品券 7300 万円
- ・ふるさと納税返礼品 2215 万円

一部事務組合 令和7年度予算

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合
和楽園

総額 2億 7836 万円

- 分担金及び負担金 1億 3269 万円
(内松前町分 6324 万円)
- 出身地別措置者数(令和7年3月現在)
松前町 … 21人 伊予市 … 7人
砥部町 … 4人 組合外 … 12人

伊予消防等事務組合
各消防署及び聖浄苑

総額 19億 1414 万円

- 分担金及び負担 17億 5242 万円
(内松前町分 4億 6867 万円)
- 消防車両更新(2台)
- 庁舎施設整備

伊予市松前町共立衛生組合
塩美園

総額 2億 4187 万円

- 分担金及び負担金 2億 3190 万円
(内松前町分 1億 2439 万円)

伊予地区ごみ処理施設管理組合
伊予地区清掃センター

総額 5億 900 万円

- 分担金及び負担金 4億 5530 万円
(内松前町分 2億 420 万円)
- 伊予地区清掃センター解体工事発注仕様書作成等業務委託



(一社)愛媛まさき町 観光物産協会の方に 聞きました

4月1日に一般社団法人となった観光物産協会に
仕事や町のことなどを聞いてみました。



菅啓三さん・宮内麻里さん

観光物産協会における 仕事のやりがいは

- ・どんな仕事も楽しく、やりがいを感じている
- ・自分の好きな町、人、物、景色などを全力で好きだと言えることが幸せである
- ・生まれ育った町の再確認ができる
- ・ゼロから立ち上げたため、方向性や連携などを手探りでつくりあげてきたこと

苦労や悩みは

- ・何をすべきか、方向性
- ・資金の問題
- ・経理や労務など専門知識が必要
- ・なことを自分で調べて対応しなければならぬ
- ・勝手がわからないことで迷惑をかける
- ・時間が足りないこと
- ・仕事と家庭どちらもそつなくできるように頑張りたい



松前町のよいところは

- ・人が温かく、情に熱い
- ・この町を良くしようと率先して活動している方が多く感銘を受ける
- ・日常にある景色がきれい
- ・野菜が美味しい
- ・災害がほとんどない
- ・場所としてのメリット(松山市・道後・空港から近い／平地が多い)

松前町の問題点は

- ・子どもも大人も地元で楽しむ場所が少ない
- ・メリットを活かしきれていない
- ・周辺市町との連携不足(連携することへの抵抗・松前独特の地域性)
- ・どんなこともまだ動き出そうと立ち上がったばかりで結果を求めるには時間がかかること

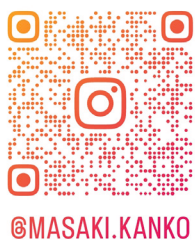


議会に望むことは

- ・どんな考えを持っているのか、松前町の何が好きか、嫌いかなど議員さんのことを教えていただきたい
- ・取材させてほしい
- ・観光物産協会の活動を知って催し物にはぜひとも顔を出してほしい
- ・会員への入会を
- ・町の予算を公平に審議してほしい



いつも松前町のために駆け回ってくださっている観光物産協会さんをPRできて嬉しいです。



@MASAKI.KANKO



町民の声

学校長期休暇期間の子育て支援

松前小児童保護者 Y・M

長期休暇期間に、児童クラブ以外の取組が必要ではないかと考えています。

町外からの移住・共働きの増加にともない、長期休暇期間に子どもだけで在宅をさせている家庭が以前に比べて増えている印象があります。保護者としては心配で、子どもの教育・成長の面から考えても良い環境であるとは思えません。

学期中は登下校時間に合わせて多くの保護者が勤務予定を組んでいるでしょうし、費用面からも児童クラブの利用を控えている家庭があるうかと思えます。

町内で「長期休暇期間の午前中」に子どもを預ける場所を設けていただけないでしょうか？

昨年の夏休み、北公民館で実施された「夏休み勉強会」を利用させていただき、とても助かりました。伊予高の生徒さんと交流できたことも、子どもたちは喜んでいました。来年度以降の同事業の拡充を希望します。

『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは5月末です。
300字程度で必ず名前・住所・連絡先・
ペンネーム(希望する場合)をお書きください。
(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆ Fax 985-4148 ◆

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】

6月10日(火)～23日(月)

一般
質問

6月16日(月)

インターネット
配信やってます

子ども議会

次回開催は来年に

令和6年8月に開催された子ども議会。どのお子さんも松前町のことをしっかり見つけ、自らが質問内容を考え、調査などして、立派に質問をしていました。



子ども議会は隔年開催ということで、令和8年の夏休み中に開催する予定です。今年の開催を楽しみにしているお子さん多いと思います。が、来年までの楽しみというところで、それまでに、松前町のいろいろなところをよく見つけ、よいところや問題点をたくさん発見していってください。

編集後記

今年度の当初予算を審議する3月議会の目玉は、学校給食費の無償化でした。

また、昨年開催された「子ども議会」での意見要望を真摯に受け止めた松前公園の遊具補修。さらには不登校児の居場所づくりと学校生活支援員の勤務時間の拡充など、「教育の町」を前進させる意気込みを感じる内容でした。

その背景には「子ども議会」の開催、「議会報告&意見交換会」に積極的に取り組み、広く町民の声を聴き、議会から町に訴え続けたことがあったからだと考えています。

(影岡 俊範)

議会広報常任委員会

委員長	曾我部秀司
委員	池田 幸子
副委員長	影岡 俊範
委員	城村トキ子
委員	渡部 恵美
委員	池内 邦仁
委員	重松 知之